

No. 119

# せたがやの教育

特集

子どもの声を聴く  
子どもの声を生かす

令和5年12月15日 発行  
世田谷区教育委員会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27 ☎5432-1111(代)  
世田谷区ホームページ <https://www.city.setagaya.lg.jp>

教えて★  
せたがやの星

東京2020大会  
フェンシング男子エペ団体金メダリスト

宇山賢さん



区の手続きや施設・イベント案内は

せたがやコール ☎5432-3333 FAX 5432-3100

午前8時～午後9時  
年中無休



特集

# 子どもの声を聴く 子どもの声を生かす

## せたがや子どもネットフォーラム

インターネットの利用方法についての方向性を見出すことを目的として、「せたがや子どもネットフォーラム」を開催し、区立小・中学校の代表児童・生徒が3日間にわたって活発な議論を重ねました！

**参加者** 区立小・中学校代表児童・生徒 合計 24名

**会場** 世田谷区立深沢中学校

**司会及びファシリテーター** 兵庫県立大学 環境人間学部 教授 竹内 和雄 氏

**事前会議 第1回**  
(5月24日)



世田谷区の子ども  
みんなに質問したい！



**事前会議 第2回**  
(6月28日)

ネットを賢く安全に使うためには

※子どもたちから出た意見

- 自分でタイマーを設定する (時間制限)
- ネット以外の趣味を見出す
- 親に止めてもらう
- 書類にはんこを押して約束する
- 大人の教え方も重要
- リアルを楽しむ

世田谷区立  
小・中学生  
33,972人に  
アンケート実施

**こどもネットフォーラム**  
(8月9日)

保坂区長、渡部教育長 (世田谷区代表)、  
深沢中学校・佐野校長 (学校代表)、  
栗花落様 (PTA代表) に参加していた  
だいて議論を深め、提言を発信しました。



先生へ

- ★ルールを固めすぎないでほしい
- ★これからもネットの指導をしてほしい
- ★iPadの自由度を上げてほしい
- ★休み時間にiPadを使えるようにしてほしい

自分たちへ

- ★作った制限を破らない
- ★困ったときは自分で抱え込まず周りの人に言って
- ★フォーラムで学んだ知識を区内に広めていきたい
- ★ネットの危険性について考えて

世田谷区へ

- ★区民にネット依存についての呼びかけをしてほしい
- ★学習サイトをブロックしないで
- ★ボール遊びや声出できる場所を増やしてほしい
- ★閲覧規制の基準を考え直して

- ★家族みんな使う時間を同じにしてほしい
- ★制限時間を作ってほしい
- ★ネットを否定せず自分たちが使い方を理解してほしい
- ★プライベートを見ないでほしい

親へ



問 教育研究・ICT推進課 ☎6453-1504 FAX 6453-1534

令和5年4月に施行されたこども基本法第3条の基本理念に「全てのこどもについて、その年齢及び発達に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会及び多様な社会的活動に参画する機会が確保されること。」などが規定されました。子ども権利条約やこども基本法を踏まえ、世田谷区教育委員会は子どもの意見が反映される教育について、あらゆる子どもの学びや成長に関わる全ての方たちと共通理解を深めることに重点的に取り組んでいきます。

子どもたちの力は、  
社会を変えることができる！

## ハロー キャリア ワーク

世田谷区教育委員会では、子どもたちが地域や企業の仕事に参加し主体性や責任感を育む「ハロー キャリア ワーク」を進めています。子どもたちが、自分の力が社会に役立つことを実感し、仕事の楽しさを知り、自らの生き方や進路を考えるための取り組みです。

学校法人村川学園 東京山手調理師専門学校



依頼

お客さんに喜ばれる  
オリジナル中華まん  
を考えてほしい。



私のアイデアでクラスの友達  
が喜んでくれるといいな

私のアイデアが企業に  
採用された！

私たちの考えた、  
他のお店には売って  
いない中華まんが  
できた！

株式会社リコー  
(ラグビー事業部)

依頼

地域とチームが一体となって  
選手を応援する工夫を考えて  
ください。



依頼

日本の良さを世界に発信して  
いく会社をつくろう！子ども  
の意見を聞かせてください。

依頼

楽天グループ株式会社

誰にとっても住みやすい街づく  
りのアイデアをください。子  
ども目線は、大切です。



株式会社BYD

国際ナショナルスクールで  
日本と世界の架け橋になりませんか？

- ・オールイングリッシュ
- ・紹介動画作成

この他にも続々といろいろな地域・  
企業・大学等からの依頼 (オファー)  
が届いています。

日帰りバス旅行を企画してください。

- ・親子 220人参加
- ・2024年夏に開催の旅行
- ・旅行会社と協力して企画

商店街の魅力を紹介するホームページのアイデアをください。

- ・100店舗以上の商店街
- ・ロゴやキャラクターを考案

今後、地域や企業からの依頼による子どもたちの貴重な機会の創出に努めます。  
また、その様子をX (旧ツイッター) やホームページなどでお伝えします。

問 教育研究・ICT推進課 ☎6453-1504 FAX 6453-1534

# 多様な学びの支援

社会の多様化が進む中で、一人ひとりの学びが尊重され、多様な学びの中から、自分で判断し、選択することが重要になります。世田谷区教育委員会は多様な学びを支援するため、オンラインによる不登校支援事業を始めました。また、新・才能の芽を育てる体験学習で子どもたちの将来の多様な夢や希望につながる講座を提供しています。

## ほっとルームせたがYah! オンライン (ONLINE)

令和5年6月より、不登校または不登校傾向にある区内在住の小・中学生を対象に、タブレット型情報端末などを利用したオンラインによる支援事業を開始しました。

### 1 学習支援

スタディールームにて、小・中学校の学年ごとに動画などによる授業を受けることができます。

### 2 居場所支援

リラックスルームにて、スタッフと話をしながら簡単なゲームや動画を楽しめます。

### 3 個別相談支援

様々な悩みにスタッフが1対1で対応します。

体験プログラムによる支援の様子



## 支援内容

5つの支援があります



個別相談によるスタッフの様子

### 4 体験プログラム

プログラミング教室やクイズ大会を月に1回開催します。

### 5 保護者支援

保護者の方の悩みや相談にスタッフが1対1で対応します。

## 開設日時

毎週月・水・金曜日  
午前11時～午後3時  
(原則、祝・休日、年末年始、区立学校の春・夏・冬季休業期間中を除く)

## 申込みから利用開始までの流れ

- ①WEB入力フォームから問い合わせ
- ②オンラインによる説明会への参加
- ③利用希望の場合、申込み手続き
- ④保護者あて利用決定通知の送付
- ⑤オンラインによる面接・利用説明
- ⑥利用開始

## 利用した児童・生徒の声

- 初めてでしたが落ち着いて授業を受ける事ができました。スタディールームで理科、社会など5教科の動画授業を見ることができました。
- リラックスルームで雑談や漢字クイズをしました!
- ほっとルームで過ごすうちに、スタッフの姿をみて、将来ほっとルームのスタッフになりたいと思うようになりました。

問 教育相談課 ☎6453-1511 FAX 6453-1534

## 多様な体験から発見する新たな自分 新・才能の芽を育てる 体験学習

### バンドdeライブ ～バンドを組んでライブをやろう!～

中学生

初心者から経験者、初めて会う人とバンドを組んで、半年間練習し、北沢タウンホールでライブをしました。



音楽をすることで、一つのことに向かう仲間と知り合えた。



どんなに辛くても、大変でも、頑張って練習してきた成果を本番で発揮できて自信になった!

### 探してみよう! 生き物の色や形の不思議!

小学3・4年生

大学の研究室で生き物のからだの不思議について学んだり、ふれあったりしました。

初めてみる生き物にたくさんふれることができ、新しいことを知ることができた。



### 誰でも簡単! 作ってみようおもしろ動画!

小学3・4年生

親子でみんながあっと驚くような動画を作りました。



簡単に動画を作ることができた! これからもたくさん作ってみたい!

### ウェルビーイングカードゲーム ～Super Happy Birthday～

中学生

「ウェルビーイング」=人それぞれ違ういい状態

新・才能の芽を育てる体験学習は、探求、表現、体力・健康、国際理解、環境の5つのテーマから、講座体験を通して、関心を広げ、たくましく生き抜く力を育てることを目的としています。

他人の気持ちを考えることで想像力が上がった。



問 地域学校連携課 ☎5432-2723 FAX 5432-3025

ご存じですか？

## 子ども読書リーダー

子ども読書リーダーとは、本と人との結びつきを手助けするリーダーのことです。読書や図書館が好きな子どもたちが、図書館での活動を通して、学校や地域のコミュニティで自発的に読書の輪を広げていくことを目指して設けられています。

区立図書館では、例年「子ども読書リーダー講座」を開催しており、これを受講することで区内の図書館で子ども読書リーダーとなって活動することができます。現在、多くの子どもたちが子ども読書リーダーとして区内の図書館で精力的に活動し、読書の楽しさを広めています。



子ども読書リーダーの活動



子ども読書リーダーが作成した図書館内の特集コーナー



子ども読書リーダー講座  
気になることを図書館の本を使って調べ、画用紙にまとめています。

問 中央図書館 ☎3429-1811 FAX 3429-7436

## 帰国・外国人教育相談室をご活用ください

来日した外国人児童・生徒や、海外から帰国した児童・生徒の中には、日本語が分からないことから起こる学習や生活でのトラブルなどに直面したり、生活環境の急激な変化により、いろいろな悩みや不安・戸惑いをもちながら、日々を過ごしたりしている方も少なくありません。

日本語や日本の生活様式、日本の学校や授業・学習などに適応するためには、周囲の理解と支援も必要です。相談室では、日本語指導、教科補習等のほかにも在籍校と協力し、指導内容や方法等について支援を行っています。相談室のご活用をお考えの方は、在籍している学校から相談室へ申し込みますので、担任の先生にご相談ください。

相談室での具体的な取り組み内容は、下記二次元コード（日本語、English、中文、한국어）よりご参照ください。



◆相談室の所在地

世田谷区松原6-5-11(世田谷区立梅丘中学校内)

問 帰国・外国人教育相談室 ☎・FAX 3322-7776

帰国・外国人教育相談室では、世田谷区立小・中学校に在籍する外国人児童・生徒、及び海外から帰国した児童・生徒を対象に、教育相談、日本語指導、教科補習、保護者対象の通訳者派遣を行っています。



### 日本語や教科を学ぶ補習教室 (令和4年度)

教室名	授業時間	在籍者数			在籍者が所属する学校数		回数
		小学生	中学生	合計	小学校	中学校	
水曜教室	17:00~19:00		23人	23人		15校	24回
土曜教室	14:30~16:30	30人	28人	58人	20校	18校	24回

## 次世代に向けた文化財保護の取り組み

茅葺き屋根の葺き替え

次大夫堀公園民家園の旧加藤家住宅主屋（区指定有形文化財11号）では、令和6年2月28日（水）まで、茅葺き屋根の葺き替えを行っています。昭和63年の竣工以来、部分的な補修を繰り返して、維持してきた茅葺き屋根ですが、35年を経て、すべて新しい茅に葺き直すことになりました。全国的にも大変少なくなった茅葺き職人による屋根葺き仕事の様子を、文化財保護活動の一環として公開しています。

また、期間中、茅葺きの仕組みや技術を学べる解説や、職人による実演、そして実際に体験ができる『茅葺きの技術』を行うので、子どもから大人まで、この区民の生涯学習の場としていただけます。



葺き替え工事



『茅葺きの技術』では、職人による実演も行います。

『茅葺きの技術』についてはこちらから



問 民家園係 ☎3417-5911 FAX 3417-5961

## 食品ロス削減推進デジタルポスターコンクール

世田谷区教育委員会では、専門学校と連携したり、区内小・中学校における食品ロス削減の好事例を周知するなど、食品ロスの削減に取り組んでいます。

食品ロスについて学び、食べ物の大切さや未来の地球環境を守ること等への理解と関心を深めることを目的に、世田谷区立船橋小学校で、ポスターコンクールが開催されました。作品は、5年生が学習用タブレット端末を使用して制作しました。日頃から食品ロスに対して感じていることを自由に表現し、デジタル作品ならではの個性豊かな作品が集まりました。

### 入選作品

#### 世田谷区清掃・リサイクル部長賞



前田 直



佐藤 友理

#### 世田谷区2R推進会議賞



櫻井 せあ



隋 依辰

問 清掃・リサイクル部事業課 ☎6304-3253 FAX 6304-3341

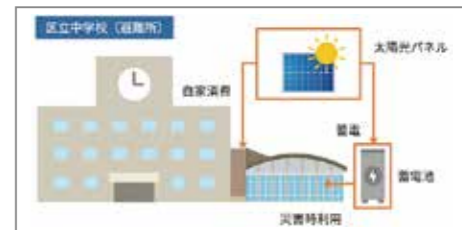
## 二酸化炭素排出量削減の工夫

世田谷区では、「世田谷区気候非常事態宣言」を行い、2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指しています。その取組みとして、新たに一部の中学校に太陽光パネルと蓄電池を設置しました。（令和4年度6校設置、令和5年度4校設置予定）太陽光発電による再生電力を使用することで、二酸化炭素排出量を削減しています。発電した電力を蓄電池に充電し、夜間にも利用しています。

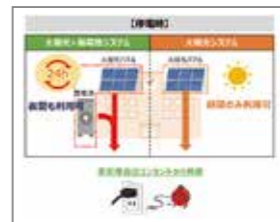
また、災害など停電時には、太陽光発電による電力と蓄電池の電力を避難所運営等に活用することができます。



中学校の屋上に設置された太陽光パネル



発電のイメージ



停電時のイメージ



非常用自立コンセント

問 教育環境課 ☎5432-2722 FAX 5432-3029

### 編集後記

今回インタビューをさせていただいた宇山さんには、剣をご持参いただき、フェンシング選手しか知らないような興味深いお話をお聞きすることができました。宇山さんご自身の努力以上に、周囲の方からのサポートやチームメイトとの強い絆があり、これまで経験した試練を乗り越えられたのだと感じました。私も感謝の気持ちを忘れずに日々を過ごしたいと思います。

多言語対応の電子書籍（デジタルブック）で配信をしています。

電子書籍（デジタルブック）「カタログポケット」内で、日本語から9カ国語への自動翻訳・音声読み上げ機能により、「せたがやの教育」を多言語で読む・聞くことができます。

二次元コードよりアプリをインストールするか、ブラウザ版でご覧ください。



次号120号は令和6年3月に発行予定です。お楽しみに！



自分の気持ちを周りに伝えて  
味方をつくることで、  
サポートの輪が広がります。

東京2020大会フェンシング男子エペ団体金メダリスト

宇山 賢 さん

東京2020オリンピック競技大会フェンシング男子エペ団体金メダリストの宇山賢さんにインタビュー。宇山さんは新・才能の身を育てる体験学習「スマートフェンシング体験講座」で講師を務めました。東京2020大会の経験談や目標に近づくために大切なことを話していただきました。

Profile

香川県高松市生まれ。同志社大学商学部卒。筑波大学スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期過程)に在籍。  
東京2020オリンピック、フェンシング男子エペ団体において金メダルを獲得。  
現役引退後、株式会社Es.relier(エスレリエール)を設立。  
フェンシングの指導や普及活動、スポーツイベントへの出演、講演や執筆など幅広く活動している。

フェンシング? フィッシング?

「フェンシングを始められたきっかけを教えてください。」

フェンシングを始めたのは、中学1年生のときです。初めてフェンシングと聞いたとき、フィッシングの言い間違いなのかなと思うくらい全然知らなかったスポーツです。2歳上の兄が先に中学校のフェンシング部に入っていました。最初、僕はフェンシング部に入る気は全くなかったのですが、いろいろな方から、毎日誘われて、フェンシング部に体験に行ったら知らないうちに始めていました。

「フェンシング部に入ってみて、どのようなところが魅力と感じるようになりましたか。」

僕はもともと体育の授業があまり得意ではありませんでした。でも、フェンシングは、走るのが速いとか、握力がすごく強いとかだけでは勝てなくて、頭脳や瞬発力、駆け引きなど、ほかの要素を必要とするところが魅力に感じました。

「高校に上がったからはインターハイで優勝されるなど、フェンシングで大きな実績を残しながらバンド活動もされていて、とても忙しかったと思いますが、何か心がけていたことはありますか。」

これは、本当に両親の協力のおかげなんです。学校が遠かったので、車で送迎してもらっていました。部活帰りに洗濯物を親に預けて、バンドの機材を受け取って、スタジオまで送ってもらいました。当時はわがままなことを言っていたなと思いますが、バンドはお金も移動時間もおかかるから諦めようと思う前に、やりたいという気持ちを親に伝え支援してもらおうことも大事だったのかなと思います。



リザーブ登録で迎えた東京2020大会

「東京2020大会の男子団体エペでは、リザーブ登録でしたが、1回戦から決勝戦までずっと出場し、大活躍でした。試合に向けて、どのような準備をされましたか。」

いわゆる補欠選手なので、すごく悔しくて、数日は、自分が信頼している人に「もうやめたい」とか、とことん愚痴を言いました。その人たちから、アドバイスをいっぱいもらって、何とかメンタルを持ち直しました。そして、自分がリザーブとして何が最大限できるかを考えました。僕が試合に出場するときは、チームが負けているときですよ。そう考えて、劣勢の流れをひっくり返すということだけをイメージして、練習に取り組みました。そうしたら、しっかり準備していたので、不安はなく、全く緊張せずに試合に臨むことができました。

「金メダルが決まった瞬間はどのような気持ちでしたか。」

コロナ禍の開催ということや、自身がリザーブ登録ということもあり、不安も入り交じる中のオリンピックだったので、すごくほっとしたというか、長い戦いが終わったなみたいな感情が一番にきました。

その後、本当に諦めなくてよかったなと思いました。何回もやめたくなるようなことがありましたが、周りでサポートして下さるスタッフの方や、遠い地元で応援してくださっている方が大勢いて、そういう人たちの思いも受け継いでオリンピックに挑んでいたんで、その中で一番いいメダルを持ち帰れてすごく安心しました。

「フェンシングのチームが強くなるためには何が必要になりますか。」

3つあって、1つ目が、共通の目標をお互い認識することです。例えば、金メダルを取る具体的な目標をチームで持って、それを定期的に確認し合うということが大事だと思います。2つ目は、お互いのやって

いることを否定しないことです。特に、フェンシングのエペという種目は、自由なところが多いので、「それは違う」とか、「そのやり方はこれ以上強くなれない」という言葉は絶対に言いませんでした。3つ目が、人のプレイスタイルとか考え方を見ていく中で、まねできるものは吸収することです。チームメイトや国際大会で戦うライバルの選手の剣さばきとか、戦略を自分のプレイスタイルの中に組み込んでいきました。

周りの力を借りて、恩返しをしましょう

「オリンピックの出場など、大きな目標を達成するためには何が必要ですか。そして、強い気持ちを保つためには何が必要ですか。」

味方をつくることだと思います。一匹狼のように、誰の助けも借りずに全部自分でのし上がれることはなく、誰かのサポートがないと、人間はできることが少ないと思います。落ち込んでいるなら落ち込んでいるという気持ちを伝え、高い目標があるなら、頑張っていきたいという気持ちを周りに伝えることです。周りの人たちが何かしてくれたら、その後自分も少し力になれるときは、恩返しをする。そうすると、少しずつ自分の関わっている人の規模が大きくなり、自分の目標にどんどん近づいていくと思います。

「世田谷区の子どもたちに向けてメッセージを」

コロナも少しずつ落ち着いてきて、ようやく人が集まってイベントが開催され、学校の行事も復活してきていると聞いています。ぜひいろいろな人とコミュニケーションを取って体を思いっきり動かして楽しむ経験をしてほしいと思います。そのときに、積極的に友達を増やしましょう。そういう友達が、大人になってからすごく大事な存在になると思います。